

神海丸通信 No.1

平成29年1月12日（木）神海丸の出港式が西郷港メガフロートにて行われました。2年海洋システム科36名・専攻科13名の合計49名が乗船し、ハワイ沖で行われる第2次マグロ操業実習へと旅立ちました。校長先生より激励の挨拶を頂き、生徒代表挨拶では、「多くの不安がありますが、それ以上に経験できることに対する期待の方が大きいです。仲間と共に頑張ります」と挨拶をしました。全校生徒や先生方、沢山の保護者の皆様の見送りを受け、生徒達は生き生きとした表情を浮かべながら敬礼で答えていました。

盛大なお見送り本当にありがとうございました。

出 港 式



船内生活・航海当直についての説明会



出港後は乗組員さんより、「船内生活」・「航海当直」についての説明がありました。船内生活では、「自分でできることは自分でやること」が大切です。決められた時間に起きること・掃除・洗濯など今まで保護者さんに頼ってばかりだったと感じた生徒達は感謝の気持ちを持ち始めたようでした。そして、この航海では、船舶に関する知識はもちろんです、それ以前に「社会人として必要な能力と態度」を養ってもらいたいと思います。



食料積み込みの様子

隠岐を出港した神海丸は浜田の専攻科生を乗船させるため、浜田へ向かいました。大時化となってしまう、ほとんどの者が船酔いでダウンしました。そんな中、船酔いに強い数名の生徒はダウンした仲間の代わりに食当を交代するなど、大活躍していました。自分のことは自分でやるということよりも、もっと大切な「仲間を助ける」という場面をみることができました。出港して数時間で、すでに生徒達の成長を感じた嬉しい場面でした。今後も楽しみです。